

人口と世帯数	人	□	25,802人
	世帯	□	11,456世帯
財産	土地	3,888,862㎡	
	建物	87,414㎡	
	有価証券	200万円	
	出資による権利	8億2,856万円	
	基金	5億0,826万円	

【平成20年3月31日現在】

下田市の家計簿はどうなっているの？

市民の皆さんに市の財政状況を知っていただくため、毎年6月と12月に財政事情の公表を行っています。皆さんの税金や国、県からの交付金などのように使われているかをあわせて、下田市の家計簿とよめるものです。

今回は、平成19年度決算と平成20年度上半期の予算執行状況についてお知らせします。

市税の負担状況

1人当たり
4万0,378円
1世帯当たり
9万0,941円

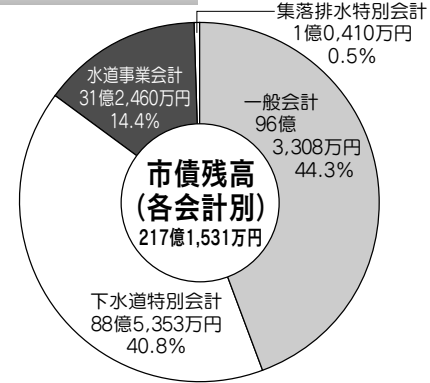
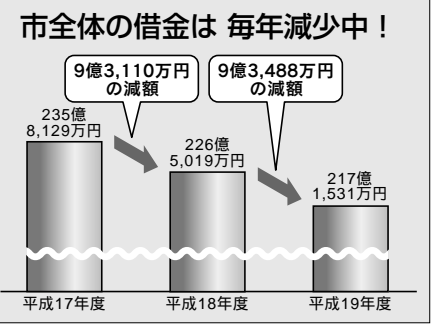
個人の市民税

1人当たり
6万0,138円
1世帯当たり
13万5,446円

固定資産税

市税全体では
1人当たり 13万0,778円
1世帯当たり 29万4,548円

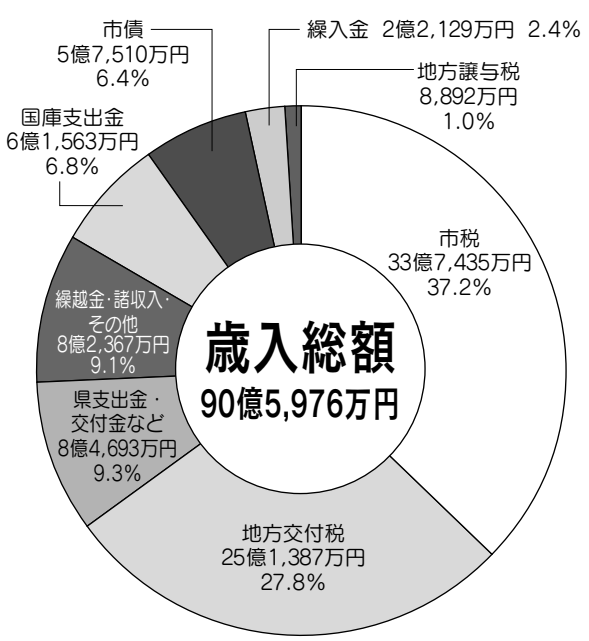
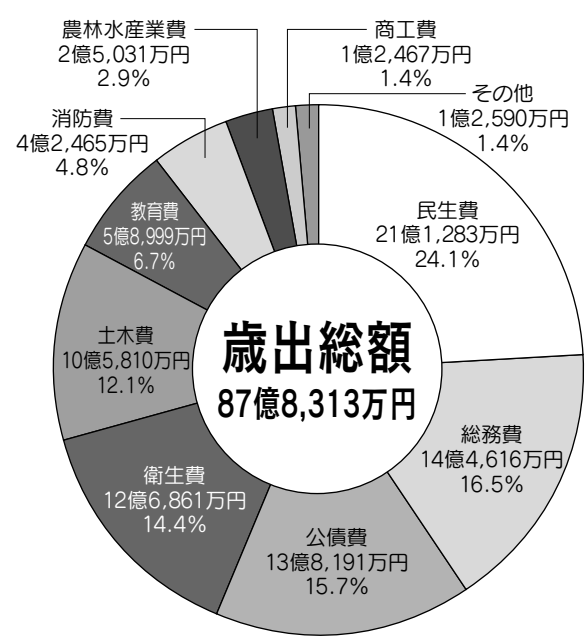
市債の状況



平成19年度の一般会計市債借入額は、ごみ焼却炉改良事業の影響で5億7,510万円（対前年度11・2%増）となりました。

また、平成19年度から3年間、高金利の公的資金借入について28・5億円の繰上償還（補償金4・4億円免除）が承認されたので、低金利の市債に借換を進め、併せて、平成22年度末までに市債残高を200億円以下になるよう取り組んでいます。

一般会計



特別会計及び事業会計

特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	121万円	120万円	43万円
下田駅前広場整備事業特別会計	1,248万円	1,250万円	1,148万円
公共用地取得特別会計	1,540万円	1,539万円	1,539万円
国民健康保険事業特別会計	36億2,539万円	35億5,860万円	34億1,904万円
老人保健特別会計	30億3,436万円	27億7,158万円	27億3,871万円
介護保険特別会計	18億8,552万円	18億5,151万円	18億1,016万円
集落排水事業特別会計	1,933万円	1,929万円	1,870万円
下水道事業特別会計	19億2,054万円	19億0,252万円	18億8,818万円

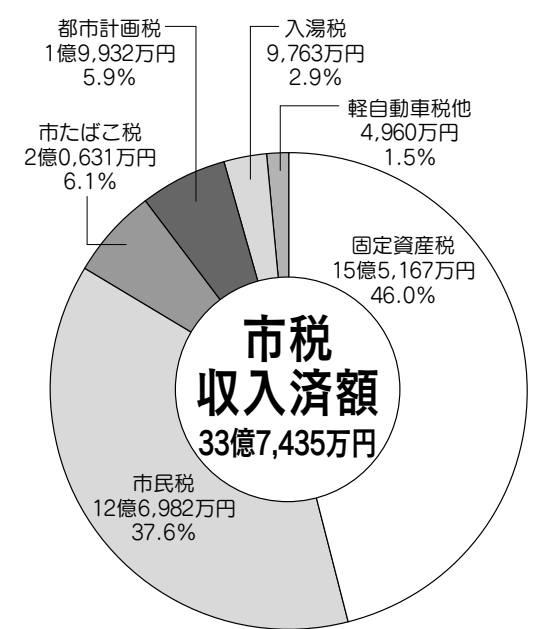
【水道事業会計】

収益的収支				資本的収支			
項目	収入済額	項目	支出済額	項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	6億6,355万円	支出合計	6億2,299万円	収入合計	3億4,722万円	支出合計	5億9,593万円
営業収益	6億5,825万円	営業費用	4億8,144万円	企業債	2億9,220万円	建設改良費	2億6,879万円
営業外収益	459万円	営業外費用	1億3,697万円	出資金	3,140万円	企業債償還金	3億2,632万円
特別利益	71万円	特別損失	458万円	負担金・その他	2,362万円	その他	82万円

純利益：以上により、平成19年度下田市水道事業会計は、4,056万円の黒字となりました。

収入が不足する2億4,871万円は、当年度損益勘定留保資金2億2,601万円、減債積立金1,101万円、その他1,169万円を補てんしました。

市税収入の内訳



平成19年度においては、ごみ焼却炉改良事業を2か年事業として開始したため、歳出決算が約88億円と前年度より1・1%増となりましたが、歳入決算で約91億円確保できたため、繰越金が約3億円、実質単年度収支でも約2億円の黒字とすることができました。

環境整備として、「須崎白浜漁港漁場整備事業」「災害対策緊急海岸整備モデル事業

（外浦漁港）「ごみ焼却炉改良事業（2か年）」を推進し、教育面では、「小学校教育用パソコン整備」「軽度発達障害児童相談支援」を実施しました。

福祉施策の面では、市役所に「AED（自動体外式除細動器）」を配備、（福）伊豆つくし会へ「知的障害者児施設整備等の支援」を行い、また「乳幼児医療費の一部無料化」にも取り組みました。

平成19年度 決算の状況